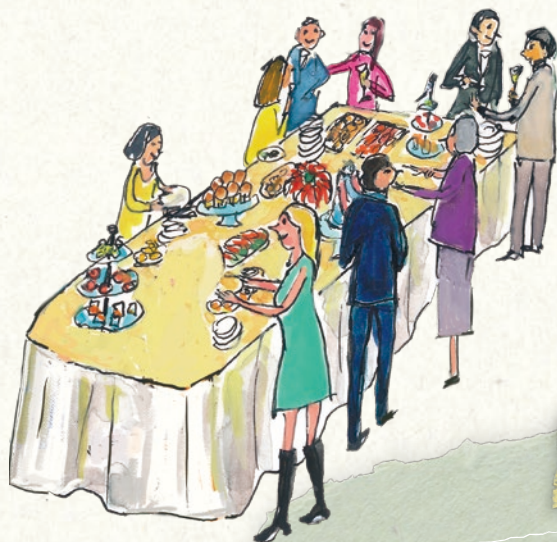


東京フィルハーモニー交響楽団

Tokyo Philharmonic Orchestra



東京フィルの

午後の コンサート。

Afternoon concerts



chie ld.

〈山の思い出〉

第102回 休日の午後のコンサート

2024年8月12日(月・祝) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY

Rakuten Mobile

マルハニ

LOTTE

JP BANK ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第102回

休日の午後のコンサート

2024.8.12(月・祝)14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
Mon. / Holiday Aug. 12, 2024, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈山の思い出〉〈Mountain Memories〉

指揮とお話 横山 奏 Kanade Yokoyama, conductor & speaker

ヴァイオリン 辻 彩奈* Ayana Tsuji, violin

ゲスト 石丸謙二郎 Kenjiro Ishimaru, guest

コンサートマスター 近藤 薫 Kaoru Kondo, concertmaster

グリーグ：劇付随音楽『ペール・ギュント』より
「朝」「山の魔王の宮殿にて」(約9分)

Grieg: Morning Mood and In the Hall of the Mountain King from "Peer Gynt" (ca. 9 min)

ヴィヴァルディ：『四季』より「夏」* (約10分)

Vivaldi: Summer from The Four Seasons (ca. 10 min)

モンティ：チャールダーシュ* (約5分)

Monti: Csárdás (ca. 5 min)

— 休憩 intermission —

R. ロジャース(R. ベネット編)：

サウンド・オブ・ミュージック・セレクション (約12分)

R. Rodgers (arr. by R. Benett): Selections from The Sound of Music (ca. 12 min)

ムソルグスキー：交響詩『はげ山の一夜』(約12分)

Mussorgsky: Symphonic poem "Night on Bald Mountain" (ca. 12 min)

J. シュトラウスⅡ：ワルツ『ウィーンの森の物語』(約12分)

J. Strauss II: Waltz "Tales from the Vienna Woods" (ca. 12 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
Subsidized by the Agency for Cultural Affairs Government of Japan | Japan Arts Council

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために ♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話 横山 奏

Kanade Yokoyama, conductor & speaker

1984年札幌生まれ。北海道教育大学札幌校で声楽を学び、一念発起し指揮者を目指す。桐朋学園、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程を修了。ダグラス・ボストック、尾高忠明、高関健、中村隆夫、黒岩英臣の各氏に指揮法を師事。2018年、「第18回東京国際音楽コンクール」にて第2位&聴衆賞を受賞。これまでに札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、東京都交響楽団、読

売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京佼成ウインド・オーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オオサカ・シオン、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共演を重ねている。2015-2017年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務めた。趣味は登山とBBQ。NHK-FM『石丸謙二郎の山カフェ』にシーズンゲストとして登場、登山とクラシック音楽の関連エピソードを紹介し人気を博している。



ヴァイオリン 辻 彩奈

Ayana Tsuji, violin

1997年岐阜県生まれ。2016年モントリオール国際音楽コンクール第1位。モントリオール響、スイス・ロマンダ管、N響、東京フィル、名古屋フィル、大阪フィルなど多くの国内外の主要オーケストラと共演。2018年「第28回出光音楽賞」、2023年「第24回ホテルオークラ音楽賞」を受賞。小林健次、矢口十詩子、中澤きみ子、小栗まち絵、原田幸一郎、レジス・パスキエの各氏に師事。東京音楽大学卒業。2019年、ジョナサン・ノット指揮／スイス・ロマンダ管とツアーを実施し高い評価を得る。コロナ禍にあって国内公演の代役で幅広く活躍したことは、レパートリーを広く拡充すると共に、経験を深く積むことにつながった。使用楽器は、NPO法人イエローエンジェルより貸与の Joannes Baptista Guadagnini 1748。



©Makoto Kamiya

ゲスト 石丸謙二郎

Kenjiro Ishimaru, guest

1953年生まれ、大分県出身。俳優。つかこうへい舞台『いつも心に太陽を』（1978年）でデビュー。1987年からは、テレビ朝日系『世界の車窓から』のナレーションで、人気を博す。2018年より、NHKラジオ『石丸謙二郎の山カフェ』のパーソナリティー。落ち着いたトーンの声質と渋みのある演技で、テレビ・舞台・映画と幅広く活動。プライベートでは多趣味なアウトドア派。ウインドサーフィン、登山、フリークライミング、ピアノ、釣りを趣味としている。著書『山は登ってみなけりゃ分からない』シリーズ（敬文舎）、画文集『野筆を片手に』（モンベル出版）。

<https://ishimaru-kenjiro.com/>



プログラム・ノート

解説＝柴田克彦

夏気分を盛り立てる、自然にまつわる音楽の数々

今回の「休日の午後のコンサート」のテーマは〈山の思い出〉。山を愛する気鋭指揮者・横山奏が、そういった自然にまつわる楽曲をお届けします。

登場するのは広く知られた名曲ばかりです。「サウンド・オブ・ミュージック」がやや異彩を放っていますが、このミュージカル——特に映画——は、ザルツブルクの自然がアクセントになった内容。中でも「すべての山に登れ」が全体の象徴的な意味を持っており、物語の最後では、ナチスの追手から逃れるため、同曲と共に一家でアルプスの山を越えていきます。

また、進境著しい俊才ヴァイオリニスト、辻彩奈のソロも大注目。『四季』の「夏」では、艶やかで表情豊かな彼女の持ち味が存分に発揮されますし、モンティの「チャールダーシュ」は、彼女が普段のシリアスなリサイタルではほとんど披露していない演目だけに要注目です。

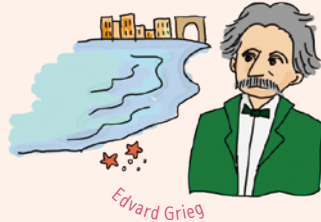
猛暑のおり、今回の“熱くも爽やかな”音楽が一服の清涼剤となるに違いありません。



登山が趣味というマエストロ横山による夏を彩る爽やかな音楽とトークをお楽しみください(写真は2023年10月、立山での登山を楽しむマエストロ)

清々しい「朝」を告げるメロディ

ノルウェーの国民主義音楽を代表する**エドヴァルド・グリーグ**(1843–1907)の**劇付随音楽『ペール・ギント』**より「朝」と「山の魔王の宮殿にて」で幕を開けます。本作は同国の作家イプセンの劇の付随音楽。イプセン本人から音楽を依頼されたグリーグは、30近い楽曲を完成し、1876年に初演されました。物語は、誇大妄想的な伝説の人物ペールが、故郷と恋人を捨てて世界を渡り歩く波瀾万丈の冒険譚です。



「朝」は、フルートのソロに始まる清々しい佳品。ただし北欧ではなく、ペールがたどり着いたアフリカのモロッコ海岸の朝が描かれています。「山の魔王の宮殿にて」は、魔の山で魔王の娘を誘惑したペールが、トロル(妖精、小鬼)に包囲される場面の音楽。奇怪な主題が速度を上げながら反復され、荒々しい高揚を遂げていきます。

ヴァイオリンの音色と技巧を存分に堪能

ここからの2曲はヴァイオリン独奏が主役を務める作品です。まずは、イタリア・バロック音楽の大家**アントニオ・ヴィヴァルディ**(1678–1741)の『四季』より「夏」。『四季』は、ヴィヴァルディが残した500を超える協奏曲の中でも特に知られた人気作で、ヴァイオリン協奏曲が4曲続く形になっています。ただし、本来は1725年に出版された『和声と創意への試み』作品8、全12曲中の第1～4曲にあたります。これらは四季の自然や人間の営みを描いた作品。風や動物の鳴き声等々の状況を綴った「ソネット」(定型抒情詩)が添えられ、その内容に則した音楽が展開されます。



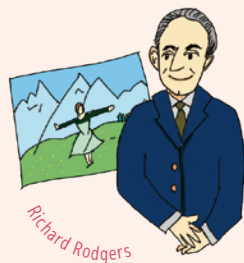
2番目に登場する「夏」は、暑さや嵐を描いたダイナミックで変化の激しい1曲です。第1楽章「けだるい暑さ」(アレグロ・ノン・モルト)は<太陽が焼け付く厳しい季節に人も羊もぐったり。かっこうが鳴き、北風も吹く>、第2楽章(アダージョ)は<羊飼いが体を休めるも、突然雷が鳴り、蝇も群れを成す>、第3楽章「夏の激しい嵐」(プレスト)は<雷鳴。ひょうが降り穀物を叩き落とす>といった情景が描写されます(<>内はソネットの大意)。

おつぎは、イタリアの作曲家**ヴィットーリオ・モンティ**(1868-1922)の「**チャールダーシュ**」。元々はマンドリン用の曲ですが、ヴァイオリンの音色や技巧の発揮に最適な曲調のため、まずロマの楽団の定番となり、やがてクラシックのコンサートでも頻繁に演奏されるようになりました。「チャールダーシュ」とは「酒場風」の意味。居酒屋(チャールダ)における兵士募集の踊りが発展したハンガリーの民俗音楽で、19世紀にはヨーロッパ各地で大流行しました。曲は、哀愁を帯びた遅い部分と爽快な急速部分から成り、後者ではヴァイオリンの見事な速弾きが繰り広げられます。



名作ミュージカルのお馴染みの曲をメドレーで

ここで気分を変えてミュージカルの名作を。『南太平洋』や『王様と私』でも知られるアメリカの作曲家**リチャード・ロジャース**(1902-1979)の「**サウンド・オブ・ミュージック・セレクション**」です。『サウンド・オブ・ミュージック』は、1959年にブロードウェイで初演され、1965年のアメリカ映画で世に広まった傑作ミュージカル。トラップ大佐の7人の子供たちの家庭教師となった修道女見習いのマリアが、歌を教えながら子供たちと打ち解け、大佐との恋にも発展するといった、ナチスの脅威が迫る中での物語です。



劇の最後にアルプスの山を越えて亡命した彼らは、実際に「トラップ・ファミリー合唱団」として活躍したことで知られています。

今回演奏されるのは、アメリカの作曲家ロバート・ラッセル・ベネット(1894-1981)が編んだ管弦楽用のセレクション。「サウンド・オブ・ミュージック(メイン・テーマ)」「恋の行方は」「ひとりぼっちの羊飼い」「私のお気に入り」「もうすぐ17才」「さようなら、ごきげんよう」「ドレミの歌」「エーデルワイス」「普通の夫婦」「誰も止められない」「マリア」「すべての山に登れ」がメドレーで登場します。この内容はオリジナルのミュージカルに基づいており、お馴染みの歌のほか、映画には登場しない楽曲も含まれています。

はげ山での精霊や魔女たちによる狂乱の饗宴

再びクラシックの有名曲が登場。ロシア国民楽派「五人組」の一人 **モデスト・ムソルグスキー**(1839-1881)の**交響詩『はげ山の一夜』**です。この曲、最初



は1860年頃に戯曲『魔女』の付随音楽として発想され、1867年に「はげ山のヨハネ祭の夜」として一応の完成をみますが、これはお蔵入り。次いでムソルグスキーは、歌劇『ソロチンツィの定期市』(未完)に、合唱付きの楽曲として転用を試みます。そして彼の死後、五人組の仲間リムスキー＝コルサコフが、最後の形のピアノ譜に基づいて管弦楽版を完成し、1886年、現在一般的な『はげ山の一夜』として発表されました。ただし最近では、ムソルグスキーのオリジナルの形での演奏も増えてきています。

曲は、「聖ヨハネ祭の夜には、悪魔たちがはげ山で酒宴を開く」との伝説に基づく情景を描いたもの。総譜には以下の説明が記されています。「地下から響く奇怪な声。闇の精、続いて闇の神チェルノボーグが出現。闇の神への賛美と黒ミサ、魔女たちの饗宴。狂乱の頂点で教会の鐘が鳴り、闇の精たちは消え去る。夜明け」。曲は不気味に始まり、金管のファンファーレを伴うクライマックスの後、静かに終わります。

美しいウィーンの緑を描いたワルツ

おしまい、ウィーンの“ワルツ王”ヨハン・シュトラウスII世(1825-1899)のワルツ『ウィーンの森の物語』。『美しく青きドナウ』と並ぶ彼の大規模ワルツの代表作であるこの曲は、1868年に初演され、5回もアンコールされたといえます。ただし曲の背景は今ひとつ不明瞭で、「国

外への演奏旅行から半年ぶりに戻ったヨハンが、いつにも増して高まるウィーンへの愛情を込めて作曲した」とされる一方、「ウィーン周辺の小さな開拓地の人々が苦しみ様子が、その土地の音楽の引用によって表わされている」と記した資料もあります。特徴は、緻密で長い序奏部。民俗楽器ツィターのソロ(通常は弦楽器のアンサンブルで代用されます)で知られる部分です。それに5つのワルツが続き、序奏を回想する形のコーダで締めくくられます。



しばた・かつひこ(音楽ライター)／音楽マネージメント勤務を経て、フリーランスの音楽ライター、評論家、編集者となる。雑誌、公演プログラム、Web、宣伝媒体、CDブックレット等への寄稿、プログラム等の編集業務のほか、一般向けの講演や講座も行うなど、幅広く活動中。著書に「山本直純と小澤征爾」(朝日新書)、「吹奏楽編曲されているクラシック名曲集」(音楽之友社)。

次回の午後のコンサート

お客様の質問募集中!

次回の午後のコンサート

休日

第103回 休日の午後のコンサート
10月14日(月・祝) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈クラシックの車窓からⅡ〉

指揮とお話: 角田鋼亮
チェロ: 鳥羽咲音*

1回券
8月発売

オッフェンバック／歌劇『天国と地獄』序曲
ウェーバー／歌劇『オベロン』序曲
グルダ／チェロ協奏曲より*
E. シュトラウス／ポルカ『蒸気をあげて』
J. シュトラウス／鍛冶屋のポルカ
E. シュトラウス／ポルカ・シュネル
『テープは切られた』
ヴェルディ／歌劇『アイダ』より凱旋行進曲
J. シュトラウスⅡ／ポルカ『観光列車』



©Makoto Kamiya



鳥羽咲音

©JuliaWesely

角田鋼亮／東京芸術大学大学院指揮科修士課程並びにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。国内外の著名オーケストラと共演し、大阪フィル指揮者(2016-2020)、仙台フィル指揮者(2018-2022)を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地で活躍の場を拓いている。2024年4月よりセントラル愛知交響楽団音楽監督。

鳥羽咲音／2005年、音楽家の両親のもとウィーンに生まれる。現在19歳。6歳から毛利伯郎氏に師事、A.メネセスやD.ゲリンガス各氏のマスタークラスにも参加。数多くのコンクールで優勝・入賞を果たし、東京・春・音楽祭でのソロ公演ほか国内の著名指揮者・楽団と共演。2020年から桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース、22年からベルリン芸術大学でJ.P.マインツ氏に師事。使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。

平日

第35回 平日の午後のコンサート
9月4日(水) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール
(予定枚数終了)

渋谷

第23回 渋谷の午後のコンサート
9月8日(日) 14:00開演
Bunkamura オーチャードホール
(好評発売中)

〈心躍らせたあの名曲との再会〉

指揮とお話: 尾高忠明 (桂冠指揮者)
ヴァイオリン: 竹内鴻史郎*

スッペ／歌劇『軽騎兵』序曲
ラヴェル／亡き王女のためのパヴァーヌ
マスネ／タイスの瞑想曲*
サラサーテ／ツィゴイネルワイゼン*
エルガー／弦楽セレナード、
行進曲『威風堂々』第4番、第1番

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休
発売日の土日祝は10時～16時営業)
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

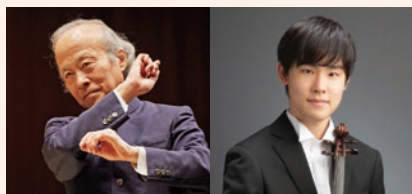


午後のコンサート。 2024シーズン 今後の公演

大人気シリーズ「午後のコンサート。」2024シーズンのコンサートが好評開催中です。オーケストラの名曲と音楽家のとおきのお話で楽しむ午後のひととき。10・11月公演の1回券は8月より発売いたします。注目のアーティストとの音楽の時間をお楽しみください。



渋谷の午後のコンサート 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00



©上野隆文

9月8日(日)

第23回 **心躍らせたあの曲との再会**

指揮とお話: 尾高忠明 桂冠指揮者

ヴァイオリン: 竹内鴻史郎

好評
発売中



©上野隆文

©Yuji Takeuchi

11月4日(月・祝)

第24回 **なんでもOKストラ!!**

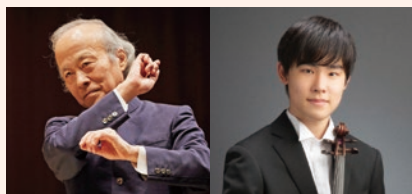
指揮とお話: 円光寺雅彦

ピアノ: 清塚信也

1回券
8月発売

平日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00

託児
あり



©上野隆文

9月4日(水)

第35回 **心躍らせたあの曲との再会**

指揮とお話: 尾高忠明 桂冠指揮者

ヴァイオリン: 竹内鴻史郎

予定枚数
終了



©上野隆文

©Yuji Takeuchi

11月8日(金)

第36回 **なんでもOKストラ!!**

指揮とお話: 円光寺雅彦

ピアノ: 清塚信也

1回券
8月発売

2024シーズン「渋谷」「平日」シリーズは同演目になります。

休日の午後のコンサート 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00

託児あり



©Hikaru Hoshi

©Julia Wesely

10月14日(月・祝)

第103回 クラシックの車窓からⅡ

指揮とお話: 角田鋼亮

チェロ: 鳥羽咲音

1回券
8月発売



イラスト:ハラダチエ

午後のコンサート 2024シーズンの1回券 10・11月公演 新規発売スケジュール

最優先※お電話のみ(賛助会員様、定期会員様)

8/20(火) 10:00～

優先※お電話のみ(東京フィルフレンズ会員様)

8/24(土) 10:00～

WEB優先発売(どなたでもお求めいただけます)

8/24(土) 10:00～9/2(月) 23:59

一般発売

9/3(火) 10:00～

◆渋谷／平日／休日 各シリーズ共通 1回券

1回券料金	S席	A席	B席	C席
定価	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
東京フィルフレンズ会員 WEB優先発売期間	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※公演・席種により4回セット券で完売となっている場合がございます。

※やむを得ない事情により、出演者・曲目などが変更になる場合がございます。

※公演中止の場合を除き、お求めいただいたチケットの払戻・変更等はいたしかねます。

※未就学児のご入場はお断りしております。東京オペラシティでの公演では託児サービス(要予約・有料)をご利用いただけます。お申し込みの際は【イベント託児・マザーズ®】0120-788-222 (土日祝日を除く10:00-12:00、13:00-17:00)までご連絡下さい。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時～18時／土日祝休 発売日の土日祝のみ10時～16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>

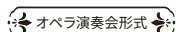


2024シーズン 今後の定期演奏会

2024シーズンの東京フィル定期演奏会9・10・11月の1回券が好評発売中です。9月は下半期の目玉演目、名誉音楽監督チョン・ミョンフンとのオペラ演奏会形式ヴェルディ『マクベス』。10月は俊英・出口大地とヴァイオリニスト服部百音の東欧プログラム、11月は首席指揮者アンドレア・バッティストーニとの待望のマーラー「交響曲第7番『夜の歌』」と、注目のマエストロたちとの聴き逃せない公演が続きます。東京フィルの充実、声楽との融合、協奏曲の躍動を引き続きどうぞお楽しみください。

9月 指揮: チョン・ミョンフン (名誉音楽監督)
マクベス: セバスティアン・カターナ
マクベス夫人: ヴィットリア・イエオ
バンクォー: アルベルト・ペーゼンドルファー (※)
マクダフ: ステファノ・セッコ
マルコム: 小原啓楼
侍女: 但馬由香
医者: 伊藤貴之
マクベスの従者、刺客、伝令: 市川宥一郎
合唱: 新国立劇場合唱団 (合唱指揮: 富平恭平)
第1004回 9月15日(日) 15:00
Bunkamuraオーチャードホール
第1005回 9月17日(火) 19:00
サントリーホール
第164回 9月19日(木) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

ヴェルディ／歌劇『マクベス』



公演時間: 約2時間45分 (休憩含む)



特設ページで
〈ヴェルディ『マクベス』を知る〉他
オンラインコンテンツを発信中!

1回券発売中

※9月定期演奏会 ヴェルディ『マクベス』出演者変更のお知らせ

9月定期演奏会 ヴェルディ『マクベス』にバンクォー役で出演を予定しておりましたアレックス・エスポージト氏は本人の都合により出演できなくなりました。

代替りましてオーストリアのバス歌手、アルベルト・ペーゼンドルファー氏が出演いたします。

出演者の変更に伴う払い戻しはございません。何卒ご了承ください。



10月 指揮: 出口大地 ヴァイオリン: 服部百音* 第1006回 10月17日(木) 19:00 サントリーホール 第165回 10月18日(金) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第1007回 10月20日(日) 15:00 Bunkamuraオーチャードホール	ハチャウトリアン／ 『ヴァレンシアの寡婦』組曲より ファジル・サイ／ ヴァイオリン協奏曲『ハーレムの千一夜』* コダーイ／ガランタ舞曲 コダーイ／ ハンガリー民謡『孔雀は飛んだ』による変奏曲  1回券発売中
11月 指揮: アンドレア・パッティストーニ (首席指揮者) 第166回 11月13日(水) 19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第1008回 11月17日(日) 15:00 Bunkamuraオーチャードホール 第1009回 11月19日(火) 19:00 サントリーホール	マーラー／交響曲第7番『夜の歌』 公演時間: 約80分(休憩なし)  1回券発売中

1回券料金(全席指定・税込)

SS席¥15,000 S席¥10,000(¥9,000) A席¥8,500(¥7,650)

B席¥7,000(¥6,300) C席¥5,500(¥4,950) ()=東京フィルフレンズ料金

お問合せ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休／
発売日の土日祝は10時～16時)URL www.tpo.or.jp/ (24時間受付・座席選択可)

詳細はこちら



ベートーヴェン『第九』特別演奏会2024 詳細決定!

今年の12/20(金)、12/21(土)、12/22(日)に開催いたしますベートーヴェン『第九』特別演奏会の出演者と楽曲は下記のとおり決定しました。

日時 2024年12月20日(金)19:00開演 東京オペラシティ コンサートホール
2024年12月21日(土)19:00開演 サントリーホール
2024年12月22日(日)15:00開演 Bunkamura オーチャードホール

出演 指揮: ケンショウ・ワタナベ
ソプラノ: 吉田珠代 アルト: 中島郁子
テノール: 清水徹太郎 バリトン: 上江隼人
合唱: 新国立劇場合唱団(合唱指揮: 三澤洋史)

曲目 ベートーヴェン／歌劇『フィデリオ』序曲
ベートーヴェン／交響曲第9番『合唱付』



ケンショウ・ワタナベ

©Abigael Kralik

吉田珠代

中島郁子

清水徹太郎

上江隼人

チケット料金(税込・全席指定)	S席	A席	B席	C席
定価	¥11,000	¥8,800	¥6,600	¥4,400
東京フィルフレンズ ／WEB優先料金(10%off)	¥9,900	¥7,920	¥5,940	¥3,960
発売日				
最優先(賛助会員・定期会員様)	8月17日(土)10:00～ ※お電話のみ			
優先(東京フィルフレンズ会員様)	8月24日(土)10:00～ ※お電話のみ			
WEB優先発売 ／期間中はどなたさまも1割引き!	8月24日(土)10:00～9月9日(月)23:59			
一般	9月10日(火)10:00～			

協賛: ユニアドックス株式会社(12/20)、楽天モバイル株式会社(12/21)、楽天カード株式会社(12/22) 協力: Bunkamura(12/22)

チケット問合せ 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522
(平日10:00～18:00／土日祝休／8/17(土)、24(土)のみ10:00～16:00)
東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>

提携都市公演 ～夜クラ発! かつてない圧巻のコントラバス十重奏～

文京シビックホール「夜クラシック」シリーズ10周年を記念して、10名の演奏者(東京フィル・コントラバスセクションのフルメンバー)によるバラエティ豊かなプログラムをお楽しみください。



©2/FaithCompany

日時 11月22日(金)19:00開演(18:15開場)

会場 文京シビックホール 大ホール

出演 東京フィルハーモニー交響楽団コントラバスセクション(片岡夢見・黒木岩寿・

遠藤柊一郎・小笠原茅乃・岡本義輝・小栗亮太・熊谷麻弥・菅原政彦・田邊朋美・中村元優)

中島郁子*(メゾ・ソプラノ/特別出演)

曲目 ドビュッシー/月の光

J.シュトラウスⅡ/美しく青きドナウ

ボッテジニ/パッショネ・アモローザ(ソリスト/小栗亮太、中村元優)

J.S.バッハ/無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番より“シャコンヌ”

ヘンデル/歌劇『アルチーナ』より“緑の牧場よ”*

フォーレ/「レクイエム」より“ピエ・イエズ”*

ビゼー/歌劇『カルメン』より“ハバネラ(恋は野の鳥)”*

ホルスト/組曲『惑星』より“木星”

料金(全席指定・税込) S席 ¥3,000 A席 ¥2,000 ※残席僅少につきお問合せください

チケット問合せ シビックチケット03-5803-1111

提携都市公演 アンドレア・バッティストーニ指揮長岡特別演奏会

日時 11月24日(日)14:00開演(13:15開場)

会場 長岡市立劇場大ホール

指揮 アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)

曲目 マーラー/交響曲第7番『夜の歌』

料金 S席 ¥5,000 A席 ¥3,000

一般発売日 8月23日(金)9:00～

チケット問合せ 長岡リリックホール0258-29-7715

長岡市立劇場 0258-33-2211

主催・問合せ (公財)長岡市芸術文化振興財団 事業課(長岡リリックホール内)
0258-29-7715



首席指揮者アンドレア・バッティストーニ

©上野隆文

指揮のないエコシンフォニーアンサンブル アンサンブルパストラーレ第5回演奏会

アンサンブルパストラーレは交響曲を室内楽編成で演奏するグループです。今回は東京フィルコンサートマスターの三浦章宏を迎え、クラリネット首席のアレッサンドロ・ベヴェラリが協奏曲を演奏する、オール・モーツァルト・プログラムです。



日時 2024年9月7日(土)開演18:00(開場17:15)
会場 豊洲シビックセンターホール
出演 ヴァイオリン:三浦章宏(東京フィルコンサートマスター)、山本琢也
ヴィオラ:デイヴィット・メイソン チェロ:小島幸法 コントラバス:片岡夢児*
フルート:齋藤志野 オーボエ:荒川文吉*
クラリネット:アレッサンドロ・ベヴェラリ*
ホルン:谷あかね ファゴット:廣幡敦子*
*=東京フィル首席奏者
曲目 モーツァルト/ピアノ・ソナタ第7番 ハ長調 K.309(室内楽五重奏版)
モーツァルト/クラリネット協奏曲 イ長調 K.622
モーツァルト/交響曲第40番 ト短調 K.550(十重奏版) 編曲:茂木宏文
料金 (全席自由)一般¥5,000 学生&U-25¥3,000 配信¥2,000
チケット問合せ pastorale.ensemble@gmail.com

ヴィオラ首席奏者の高平 純さんが定年退団されました。

1985年東京フィル入団、ヴィオラ首席奏者として39年活動された高平 純さんが6月で定年退団されました。巨匠ウィリアム・プリムローズに師事し、往年の巨匠時代の背景を持つ音楽家との共演を数々経験してこられたという高平さん。

「思い出を語ればきりがありませんが、特に印象に残っている演奏の一つに、1980年代のピアニストの、アルフレード・ブレンデルとの共演があります。また最後の定期演奏会(6月定期メシアン『トゥランガリーラ交響曲』)で一緒にしたマエストロ チョン・ミョンフンもその背景に師であるカルロ・マリア・ジュリーニの音楽をも感じさせ、幸せな時間でした。演奏を続けるなかで50歳を過ぎてわかってきたこともあり、今後も自分自身の研鑽を楽しんでゆきたいと思います」。長きにわたり、ありがとうございました。ますますのご活躍をお祈りしております。



©上野隆文

7月よりヴィオラ首席奏者(試用期間)として小峰航一(こみねこういち)が入団しました。

「皆さま、はじめまして！ ヴィオラの小峰航一です。

この度、歴史ある東京フィルハーモニー交響楽団に入団させていただく事になり、心から嬉しく誇りに思っております。これから演奏していく数多くの演奏会、シンフォニーであったりオペラやバレエであったり、はたまた色々な形での演奏会にて、皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。



様々な演奏活動を展開しているオーケストラですが、特にオペラの分野で大きな特徴のあるこの東京フィルで、自分の音楽人生の最良の時間を過ごしたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします!」。

7月よりフルート・セクション(試用期間)に菅野 力(すがのちから)が入団しました。

「皆さま、初めまして。フルートの菅野力です。

私が生まれて初めて聴いたオーケストラは、地元静岡で小学生の頃に聴いた東京フィルの『ボレロ』でした。今でも身を持ち出して聴いていたことをよく覚えています。日本で一番伝統と歴史のあるこの東京フィルの一員になることができ、改めて身の引き締まる思いです。また、これから管弦楽だけでなく、バレエやオペラ、ポップスやレコーディングなど、今まで経験した事のない様々なジャンルの音楽をお届けできることを非常に楽しみにしております。



©Keitaro Saito

これからどうぞよろしくお願いいたします」。

8月よりホルン・セクション(試用期間)に小椋陽咲(おぐらひさき)が入団しました。

「はじめまして。この度8月より入団する事になりましたホルンの小椋陽咲と申します。

オーケストラに一番最初に興味を持ったのは習い事でバレエをやっていた時でした。当時はバレリーナになりたいと思っていましたが、ホルンをはじめてからはいつかオーケストラピットに入りたい!と夢見ていました。



バレエやオペラの公演も沢山されている東京フィルで演奏させていただける事はとても嬉しいですし、クラシック音楽だけでなく様々なジャンルの音楽を演奏できる事、とても嬉しく思います。

オーケストラの一員として皆さまにお会いできる日を楽しみにしています!」

Photo Reports 2024年6月のコンサートより

6月の演奏会は事業提携都市・文京区の文京シビックホール「響きの森クラシック・シリーズ」と人気シリーズ「休日の午後のコンサート」に“炎のマエストロ”こと小林研一郎とピアニスト小林愛実が登場。名曲プログラムを愉しいお話とともにお届けしました。6月定期演奏会には名誉音楽監督チョン・ミョンフンが登場。第1000回定期演奏会を含む3公演でマエストロ自身が交流をもった20世紀を代表する作曲家メシアンの『トゥランガリーラ交響曲』をとりあげ、各会場を埋め尽くすお客様から大きな喝采をいただきました。

響きの森クラシック・シリーズVol. 80 (6/8) /

第101回休日の午後のコンサート〈コバケンの『わが祖国』〉(6/9)

指揮とお話：小林研一郎

ピアノ：小林愛実* 司会：朝岡 聡 (6/9のみ)

コンサートマスター：依田真宣

モーツァルト／ピアノ協奏曲第20番*

【ソリスト・アンコール】

シューベルト(リスト編曲)／春のおもい

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』より“ヴィシェフ
ラド(高い城)”“ヴルタヴァ(モルダウ)”“シャル
カ”“ボヘミアの森と草原から”

【オーケストラ・アンコール】

スメタナ／連作交響詩『わが祖国』第4曲“ボヘ
ミアの森と草原から”より



6月定期演奏会(6/23、24、26)

【第1000回オーチャード定期演奏会】(6/23)

撮影＝上野隆文

指揮：チョン・ミョンフン(名誉音楽監督)

ピアノ：務川慧悟

オンド・マルトノ：原田 節

コンサートマスター：依田真宣



メシアン／ トゥランガリーラ交響曲

第1000回定期演奏会の会場Bunkamuraオーチャードホールの入り口では開催を祝うバナーがお客様をお迎え。プログラム冊子の表紙をメシアンの世界を表現したハラダチエさんのイラストが飾りました



作曲家メシアン絶賛を受けるほど作品を知り尽くしたマエストロ チョン・ミョンフンの指揮で行われた3公演。各会場で大きな喝采をいただきました



本作を350回以上演奏しているオンド・マルトノ奏者原田節さんと、気鋭のピアニスト務川慧悟さんとのコラボレーションで愛と愉悦の世界を描ききりました。最終公演東京オペラシティ定期シリーズでのカーテンコールにはオーケストラメンバーも全員登場

日比谷公園から 東京オペラシティへ ——まちづくりの多くの方々との 出会いの中での音楽体験の幸せ

株式会社アイ・オー・エム 代表取締役社長
村中 弘二



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第26回は1995年の東京オペラシティ建設運営協議会で事務局長を務められ、初台地域と劇場・コンサートホールの交流に尽力された村中弘二様。クラシック音楽との出会いから、東京オペラシティ コンサートホールの建設準備で見聞を広められた貴重なご経験を綴ってくださいました。



昭和30年(1955年)師走のある晴れた午後、次姉と落ち合い歩き出した途端見知らぬ男女から声をかけられた。「急に行けなくなりました。どうぞお使い下さい」——日比谷公会堂オペラ『イル・トロヴァトーレ』——私の幸運なクラシック体験の始まりであった。

昭和34年日本生命に入社、同38年東京勤務となり東京オペラシティ担当として平成元年ヨーロッパ劇場都市巡りに参加、ロンドン、アムステルダム、ウィーン、ミラノ、ミュンヘン、フランクフルトと巡り、本物の「聴く」は勿論、バックヤードの数々の仕掛けを学んだことは貴重な体験だった。

東京フィルとの出会いの中で記憶に残る最たるものは平成4年11月30日東京オペラシティ起工式祝賀パーティー、渡邊一正指揮ヴェルディ『乾杯の歌』。京王プラザホテル祝賀会場で、喜びにあふれる笑顔、互いに握手し肩たたき、参加者全員感動を共にした。

平成7年9月24日60歳の誕生日、武満徹氏の主宰する八ヶ岳音



加賀の先祖が代々眺め拝んだ白山ゆかりの
八王子・白山神社境内にて——妻と

楽祭に、それまでお世話になった方々60余人と参加、「秋庭歌一具」を聴いた。その3年前はじめて軽井沢のお仕事場を訪ね東京オペラシティ コンサートホールの芸術監督をお願いして以来の短い期間であったが、真摯に時には厳しく時には優しく、二十世紀を代表する世界的大芸術家が私どもに接して下さった。その翌年急逝された事は誠に悔やまれる限りであった。

なお東京オペラシティ コンサートホールは「タケミツメモリアル」の名を冠して氏を永らく後世に伝える事としている。

今秋11月8日(金)は、昨年に続き東京フィル「平日の午後のコンサート」での円光寺雅彦指揮とピアノ清塚信也を楽しみにしている。

この4月には新国立劇場のバレエ『ラ・バヤデール』をママ(ワイフ)と鑑賞した。

令和8年3月にはブルーサファイア婚(65年)となる。無事迎えることが出来れば、子供たちを呼んでテレマンの『卓上の音楽』(ターフェルムジーク)をバックに慶びを分かち合えればと願っている。

村中弘二(むらなか・ひろじ) / 1935年弘前市生まれ。1959年東京大学法学部卒業。日本生命保険相互会社入社。1990年から1995年 東京オペラシティ建設運営協議会事務局長、調整会議(新国立劇場一民間街区)事務局長。1996年(株)アイ・オー・エム設立 代表取締役就任。現在に至る。

まちづくりの多様な経験を「文化と街づくり〔情報と文化の街 新都心新宿／アン物語〕」「夢 つのはず文化・まちづくり」として著作にまとめている。(株)アイ・オー・エムとして梅澤蹴人著「サッカーの高年語り部語録」も編集発行。

暑中お見舞い申し上げます。年々暑さが厳しくなりますが、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。今月は、「山の思い出」と題し、情感豊かな演奏をお送りいたします。ぜひお楽しみください。引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。ここに法人ならびに個人賛助会員(パートナー会員)の皆様のご芳名を掲げ、改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー (敬称略)

ソニーグループ株式会社	代表執行役 社長 COO 兼 CFO	十時 裕樹
楽天モバイル株式会社	代表取締役会長	三木谷 浩史
株式会社マルハン	代表取締役 会長	韓 昌祐
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	中島 英樹
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	笠間 貴之

法人会員

賛助会員 (五十音順・敬称略)

(株)III 代表取締役社長 井手 博	(株)インターテキスト 代表取締役 海野 裕	(公財)オリックス宮内財団 代表理事 宮内 義彦
(株)アイエムエス 取締役会長 前野 武史	ANAホールディングス(株) 代表取締役社長 芝田 浩二	カシオ計算機(株) 代表取締役 社長 CEO 増田 裕一
(医)相澤内科医院 理事長 相澤 研一	(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長 有吉 伸人	キヤノン(株) 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫
アイ・システム(株) 代表取締役会長 松崎 務	大塚化学(株) 特別相談役 大塚 雄二郎	(株)グリーンハウス 代表取締役社長 田沼 千秋
(株)アシックス シニアアドバイザー 尾山 基	(株)オーディオテクニカ 代表取締役社長 松下 和雄	サントリーホールディングス(株) 代表取締役社長 新浪 剛史

信金中央金庫
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役社長 小澤 真也

ソニーグループ(株)
代表執行役 社長 COO 兼 CFO 十時 裕樹

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長 高橋 薫

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長 宗森 耕二

都築学園グループ
総長 都築 仁子

東急(株)
取締役社長 堀江 正博

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長 大矢 光雄

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役社長 柴尾 雅春

日本ライフライン(株)
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長 山野 政彦

ユニアデックス株式会社
代表取締役社長 田中 建

ユニオンツール(株)
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長 今西 宏明

楽天モバイル(株)
代表取締役会長 三木谷 浩史

(株)リソー教育
代表取締役社長 天坊 真彦

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレソル たにぐちファミリークリニック
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長 加藤 徹

(医)康明会
理事長 遠藤 正樹

(医)だて内科クリニック
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員 若林 隆壽

(一財)凸版印刷三幸会
代表理事 金子 真吾

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

(株)ネスト
代表取締役 太田 潤

富士通(株)
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長 漆間 啓



ご支援の御礼とお願い



昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年(明治44年)に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いつその発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけますと幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会(次ページ)も併せてご覧ください。

金融機関名	ゆうちょ銀行(郵便振替)	三井住友銀行・東京公務部(096)
口座番号	00120-2-30370	普通預金 3003239
口座名義	公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団	

※寄附金額は自由に設定いただけます。

※振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※領収証書が必要な方は、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項を記入し、下記送付先へご送付ください。

寄附申込書の書式は下記ウェブサイトまたは問合せ先へご照会ください。



寄附申込書・賛助会入会申込書はこちらからも取得いただけます。
<https://www.tpo.or.jp/support>

ご支援・賛助会に関するお問合せ／寄附申込書 送付先

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当
 〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階
 Fax: 03-5353-9523 Eメール: partner@tpo.or.jp
 Tel: 03-5353-9521(土日祝日を除く10時～18時)

東京フィルの賛助会(応援団)に入りませんか？

2024年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立113年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後も社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団



さまざまな形で青少年に演奏を届ける活動を続けています

賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

オフィシャル・サプライヤー ※	
法人会員	年会費1口
賛助会員	50万円
後援会員	30万円
パートナー会員	
ワンハンドレッドクラブ	100万円
フィルハーモニー	50万円
シンフォニー	30万円
コンチェルト	10万円
ラプソディ	5万円
インテルメッツォ	3万円
プレリード	1万円

※オフィシャル・サプライヤーの詳細はお問い合わせください。
東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「ご支援カウンター」またはウェブサイト、東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。
ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当：星野^{かのまた} 鹿丈)

Tel: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

活動のご報告

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。



フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。



文化庁「舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演事業)」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022年度より東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受け、2023年度も6月から1月にかけて、8校の小中学校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催いたしました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演



留学生の演奏会ご招待・・・留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とジョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文



特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- 周年事業や記念イベントとして大切なお客様を招待したコンサートを開きたい
- 商品や新事業のプロモーションとして何か施策を考えたい
- 式典や学会などでの演奏を企画したい
- 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

【広告・協賛のお問合せ】 東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
Tel: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

～コンサートをお楽しみいただくために～

♪ チケットの座席番号をチェック！

・本日のコンサートは全席指定です。チケットに記載されたお席にご着席ください。

♪ 開演時間もチェック！

・時間に余裕をもってご着席ください。演奏中のご入場は、固くお断りいたします。
楽章間の入場も楽曲の進行により制限させていただきます。
・曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬようご配慮ください。

♪ 開演前に、お手元のお荷物や電子機器をチェック！

・許可のない録音・録画は固くお断りいたします。
・演奏中に、時計やスマートフォン、その他電子機器のアラーム音やディスプレイの光が漏れないよう、電源をお切りいただくか、マナーモードの設定をいま一度ご確認ください。
・動いたときに音の出る衣類やバッグ等は足元に。
・のど飴類は開封時に音が出ないものをご準備ください。咳が出そうな日はあらかじめお手元やお口の中に。

♪ 演奏中に気を付けたいことも同時にご確認ください！

・演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございます。

マナーを守ってコンサートをお楽しみください♪

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宜
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroyuki Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

今村 亜里子
Ariko Imamura

入江 真歩
Maho Irie

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

黒田 玲
Rei Kuroda

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

松岡 野乃花
Nonoka Matsuoka

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邊 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

小峰 航一◎
Koichi Kamine

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michio Suto

加藤 大輔○
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曾和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ
Cellos金木 博幸◎
Hiroyuki Kanaki服部 誠◎
Makoto Hattori渡邊 辰紀◎
Tatsuki Watanabe黒川 実咲☆
Misaki Kurokawa高麗 正史☆
Masashi Korai石川 剛
Go Ishikawa大内 麻史
Mao Ouchi太田 徹
Tetsu Ota菊池 武英
Takehide Kikuchi佐々木 良伸
Yoshinobu Sasaki長谷川 陽子
Yoko Hasegawa渡邊 文月
Fuzuki Watanabeコントラバス
Contrabasses片岡 夢児◎
Yumeji Kataoka黒木 岩寿◎
Iwahisa Kuroki遠藤 柊一郎
Shuichiro Endo小笠原 茅乃
Kayano Ogasawara岡本 義輝
Yoshiteru Okamoto小栗 亮太
Ryota Oguri熊谷 麻弥
Maya Kumagai菅原 政彦
Masahiko Sugawara田邊 朋美
Tomomi Tanabe中村 元優
Motomasa Nakamuraフルート
Flutes神田 勇哉◎
Yuya Kanda斉藤 和志◎
Kazushi Saitoさかはし 矢波
Yanami Sakahashi菅野 力
Chikara Suganoオーボエ
Oboes荒川 文吉◎
Bunkichi Arakawa佐竹 正史◎
Masashi Satake岡村 彩香
Ayaka Okamura杉本 真木
Maki Sugimoto若林 沙弥香
Sayaka Wakabayashiクラリネット
Clarinetsアレッサンドロ・
ベヴェリ◎
Alessandro Beverari万行 千秋◎
Chiaki Mangyo黒尾 文恵
Fumie Kuroo鳥潟 さくら
Sakura Torigata林 直樹
Naoki Hayashiファゴット
Bassoons河野 星◎
Akari Konoチェ・ヨンジン◎
Young-Jin Choe廣幡 敦子◎
Atsuko Hirohata井村 裕美
Hiromi Imura桔川 由美
Yumi Kikkawa森 純一
Junichi Moriホルン
Horns齋藤 雄介◎
Yusuke Saito高橋 臣宜◎
Takanori Takahashi磯部 保彦
Yasuhiko Isobe大東 周
Shu Ohigashi小椋 陽咲
Hisaki Ogura木村 俊介
Shunsuke Kimura佐藤 俊輝
Toshiki Sato田場 英子
Eiko Taba塚田 聡
Satoshi Tsukada豊田 万紀
Maki Toyoda西川 優弥
Yuya Nishikawa山内 研自
Kenji Yamanouchiトランペット
Trumpets川田 修一◎
Shuichi Kawata野田 亮◎
Ryo Noda古田 俊博◎
Toshihiro Furuta杉山 眞彦
Masahiko Sugiyamaトロンボーン
Trombones辻 姫子◎
Himeko Tsuji中西 和泉◎
Izumi Nakanishi石川 浩
Hiroshi Ishikawa五箇 正明
Masaaki Goka藤田 恵輔
Keisuke Fujita山内 正博
Masahiro Yamauchiテューバ
Tubas大塚 哲也
Tetsuya Otsuka荻野 晋
Shin Oginoティンパニ&
パーカッション
Timpani & Percussion岡部 亮登◎
Ryoto Okabe塩田 拓郎◎
Takuro Shiota秋田 孝訓
Takanori Akita木村 達志
Tatsushi Kimura鷹羽 香緒里
Kaori Takaba中村 勇輝
Yuki Nakamura縄田 喜久子
Kikuko Nawata船迫 優子
Yuko Funasako古谷 はるみ
Harumi Furuyaハープ
Harps梶 彩乃
Ayano Kaji田島 緑
Midori Tajimaライブラリアン
Librarian武田 基樹
Motoki Takedaステージマネージャー
Stage Managers稲岡 宏司
Hiroshi Inaoka大田 淳志
Atsushi Ota古谷 寛
Hiroshi Furuya◎首席奏者
Principal○副首席奏者
Assistant Principal☆フォアシュペラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『クラシックTV』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2024, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 113th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, Tokyo Phil regularly performs both symphonies and operas. Tokyo Phil is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting Tokyo Phil since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

Tokyo Phil has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand musical agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

Tokyo Phil has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



役員等・事務局・団友

役員等(理事・監事および評議員)

理事長	理事	監事	評議員
三木谷 浩史	浮舟 邦彦	岩崎 守康	伊東 信一郎
	大賀 昭雄	山野 政彦	佐治 信忠
副理事長	大塚 雄二郎		鈴木 啓介
黒柳 徹子	小山田 隆		瀬谷 博道
専務理事	田沼 千秋		日枝 久
石丸 恭一	玉木 林太郎		
	寺田 琢		
常務理事	遠山 敦子		
工藤 真実	野本 弘文		
	韓 昌祐		
	平井 康文		
	宮内 義彦		

事務局

楽団長	公演事業部	ステージマネージャー	ライブラリアン	広報渉外部	総務・経理
石丸 恭一	市川 悠一	稲岡 宏司	武田 基樹	伊藤 唯	川原 明夫
	岩崎 井織	大田 淳志		鹿又 紀乃	鈴木 美絵
事務局長	大久保 里香	古谷 寛		千木 加寿子	
工藤 真実	大谷 絵梨奈			二木 憲史	
	佐藤 若菜			星野 友子	
	村尾 真希子			松井 ひさえ	
	吉田 結衣			安田 ひとみ	

団友

安藤 栄作	岡部 純	近藤 勉	高岩 紀子	新田 清枝	松澤 久美子
池田 敏美	小樽 敦子	今野 芳雄	高野 和彦	新田 伸雄	湊 貞男
糸井 正博	小山 智子	齊藤 匠	高村 千代子	二宮 純	宮原 真弓
今井 彰	甲斐沢 俊昭	坂口 和子	竹林 良	野仲 啓之助	山屋 房子
井料 和彦	加藤 明広	嵯峨 正雄	竹林 陽子	畑中 和子	吉田 啓義
岩崎 龍彦	加藤 博文	嵯峨 美穂子	田中 千枝	玻名城 昌子	米倉 浩喜
植木 佳奈	金崎 真由美	桜木 弘子	田村 武雄	福村 忠雄	脇屋 俊介
上野 眞行	川人 洋二	笹 翠	津田 好美	藤原 勲	
生方 正好	木村 友博	佐々木 等	戸坂 恭毅	古野 淳	
大兼久 輝宴	黒川 正三	佐野 恭一	長池 陽次郎	細川 克己	
大澤 昌生	黒沢 誠登	清水 真佐子	長岡 愼	細洞 寛	
大和田 皓	河野 啓子	瀬尾 勝保	長倉 穰司	本田 詩子	

〈発行日〉2024(令和6)年8月12日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

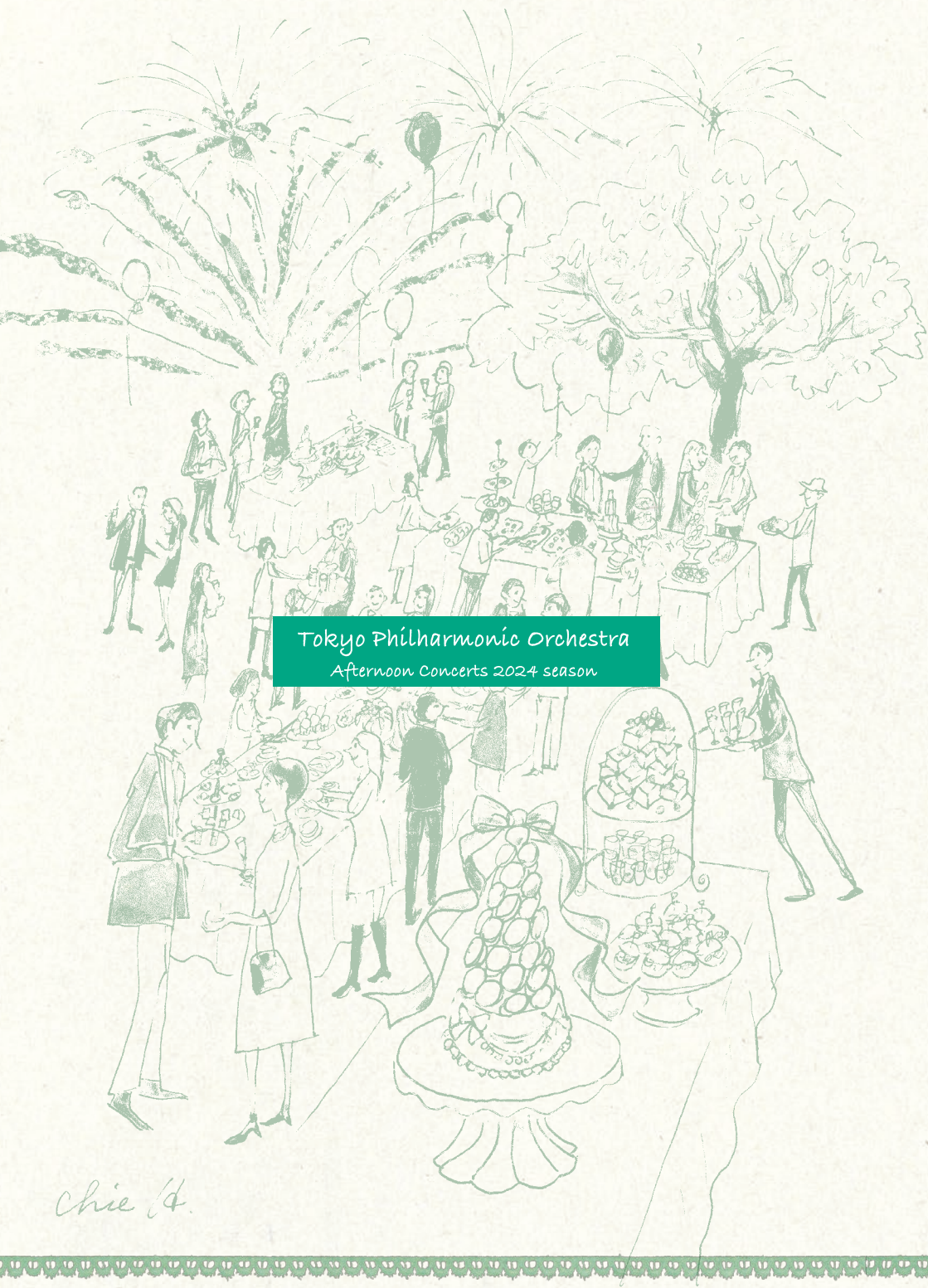
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン・本文イラスト〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉 欧文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra *無断転載を禁ず(非売品)



Tokyo Philharmonic Orchestra
Afternoon Concerts 2024 season

chie 14.